

2015年 2月 県議会報告

日本共産党岡山県議会議員団



森脇ひさき



氏平みほ子

県民の暮らし良くする施策を！

予算総括協議会で森脇県議

15年度予算について質疑する予算総括協議会(2月5日)で森脇ひさき県議は、昨年夏に日本共産党がとりくんだアンケートに寄せられた声を紹介。

「年金は低くなるし、消費税も上がった。食費や光熱費を節約しても限界だ。年寄りも早く死ねと言わんばかりの政治を改めてほしい」「子どもにもっと良い野菜や肉・魚、くだものを食べさせてあげたいのに『見るだけで我慢』と言いかせる自分が悲しくなります」——知事に対し、「『暮らしをよくしてほしい』と願う県民の声に今こそ応えよ」と迫りました。しかし、県施策についての答弁はありませんでした。



予算総括協議会で質問 (2月5日)

2月議会で氏平県議



2月定例県議会で質問(3月3日)

氏平みほ子県議は3月3日、2月議会一般質問で、核兵器廃絶、国保の広域化(県単位化)、後期高齢者医療制度の軽減措置廃止、介護報酬の削減と介護人材確保についてとりあげました。

国保の広域化や介護報酬の削減について知事は「持続可能な制度にするため必要な措置」と容認。後期高齢者医療保険料の軽減特例を廃止することについても「(軽減特例が)不公平という指摘がある」と答弁。

国いいなりに県民に負担をおしつける実態がいつそう明らかになりました。

福祉の予算は全国40位・・・

子ども医療費、障害者医療費

森脇県議は、県独自の施策として、子ども医療費無料化制度の年齢拡大と重度障害者医療費無料化制度の復元を求めました。

知事は、「現下の財政状況のもとでは慎重にしなければならない」と答弁。暮らしを良くするとりくみに背を向け続けています。

給付制奨学金、学生へ支援

森脇県議は、経済的な理由でクラブ活動ができなかったり、必要な出費をアルバイトでまかなっているなどしている高校生を支援するため、給付制奨学金の創設を求めました。また、ひとり親家庭の学習支援として、学生のボランティアをあてようとしていることについて、大学生への支援と位置づけアルバイトでの採用をと求めました。

知事は、「低所得者世帯への給付金制度が始まった」「児童福祉に意欲あるボランティアの成長につながる」などと述べ、制度創設や改善の意思を示しませんでした。

正社員化促進、農業・中小企業支援

森脇県議は、人間らしく働ける岡山にするため、非正規労働者を正社員化した企業に助成金や奨励金を出す制度の創設を提案しました。農業施策に、家族経営への支援を位置づけるよう求めました。

知事折衝でも拡充求める

来年度予算について知事と直接交渉する知事折衝(2月6日)では、福祉・暮らしを良くする施策、子どものための教育への転換、小規模事業者や農業の支援など41項目を要望しました。

(内容はホームページをご覧ください)

森脇、氏平両県議は、「県予算の全国比較で、財政力指数は19位なのに、県民1人あたりの社会福祉費は40位前後になっていること、OECDでも格差対策を強調していることを指摘。福祉や暮らしに関わる施策拡充の必要を訴えました。

知事折衝 (2月6日)



戦後70年――憲法守り核兵器廃絶の声、岡山から

憲法「改正」を否定せず！

一般質問で氏平県議は憲法9条に対する認識を知事にききました。知事は、「第2次世界大戦の悲惨な体験をふまえ、深い反省と不戦の決意のもとに制定されたもの」と答弁。しかし、政府が憲法を変えようとしていることについては、「国民全体で議論をおこなうもの」と述べました。

再質問で氏平県議は「憲法を変えることを認める立場と認識した。異論があれば答弁を」と求めましたが、知事は答えませんでした。



核兵器廃絶のアピールなし！

氏平県議は、「核兵器廃絶は人類共通の課題」として、県も、懸垂幕の表示や被爆者団体と共同した催しをおこなうよう提案しました。

知事は「核兵器廃絶は、全人類の目指す目標のひとつ。唯一の被爆国である我が国は、世界に向けて訴えていく必要がある。多くの人々が、この目標に向けて活動を行っていることは、意義深い」と述べましたが、「県独自のとりくみは考えていない」としました。

国保への「繰り入れ」は好ましくない

国保広域化のねらいは

氏平県議は、国保広域化(県単位化)について、国保の構造的矛盾の解決にならないことを指摘。「ねらいは医療支出を抑えることと、国保料軽減のために市町村がおこなっている『繰り入れ』をやめさせることにある」と主張。

保健福祉部長は「市町村が保険料軽減のためにおこなう『繰り入れ』は好ましくない」と、これまでも指導しており、広域化後もその姿勢は変わらない」と答弁しました。

保健福祉部長は「市町村が保険料軽減のためにおこなう『繰り入れ』は好ましくない」と、これまでも指導しており、広域化後もその姿勢は変わらない」と答弁しました。

ブラック企業、ブラックバイト根絶へ

高校生に簡易版ガイドブック配布

氏平県議は、高校での教育内容充実と「サポートガイド」の全生徒への配布を求めました。

教育長は、「公民科の授業で勤労の権利や義務、労働基本権の保障等、基礎的な

理解を図っている。トラブル等に適切に対応できる実践的な態度の育成が大切」と述べ、「サポートガイドは有効であり、簡易版を配布し全生徒の活用を働きかけている」と答えました。

県民要求に背を向け、議案にはすべて賛成の他会派

議案の採否結果

【議案】	共産	自民	民県	公明	県緑	無所属	結果
平成27年度一般会計予算	×	○	○	○	○	○	○
広域水道企業団出資	×	○	○	○	○	○	○
危険な薬物から県民の命とくらしを守る条例	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度一般会計補正予算(「地方創生」)	×	○	○	○	○	○	○
新教育長の任命同意	×	○	○	○	○	○	○

○=可決 ×=否決

請願・陳情の採否結果

【請願・陳情】	共産	自民	民県	公明	県緑	無所属	結果
所得税法56条の廃止を	○	×	○	×	×	×	×
骨髄・末梢血幹細胞提供者への支援を	○	○	○	○	○	○	○
養護教諭の複数配置基準の引き下げを	○	×	×	×	×	×	×
養護教諭の臨時採用の解消を	○	×	×	×	×	×	×

○=採択 ×=不採択

「県民の願いにこたえよ」

森脇県議が反対討論

国の「地方創生」に関する補正予算について森脇県議は、「地方の衰退、県民の暮らし悪化の原因に手をつけず、消費税増税、社会保障のさらなる切り捨て、TPP や『戦争する国』づくりなど、安倍政権の暴走を加速するテコにしようとするもの」と指摘。「地域経済を直接支援する政治への転換を求め」反対しました。

来年度予算についても、苫田ダムの余水へ税金投入する一方、子ども医療費や障害者医療の改善には手をつけようとしない県の姿勢を批判。「暮らしを良くする県施策の拡充を」求めました。

任期途中で新教育長任命

「知事いいなり教育」強まる恐れ

知事の介入を強める改悪・教育委員会制度が4月からスタート。現教育長の任期はあと2年。その間、これまでの制度が継続できるのに、知事の意向を受け、「新教育長」になります。任命段階から「知事いいなり」で問題です。

日本共産党 岡山県議会議員団

森脇ひさき 氏平みほ子

2015年 3月 No. 14

〒700-8570 岡山市北区内山下2丁目4-6 岡山県議会内

TEL 086-226-7412 FAX 086-231-2187

ホームページは日本共産党岡山県議団で検索してください

お気軽にご意見・ご要望をお寄せください